教科・科目	対象学年	単位数	教科書
国語・国語表現	3	2	東京書籍　国語表現
科目の概要と目標	・実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 ・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、実社会における他者との多様な関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。		

学期	単元	学習内容	到達度目標
1学期	1　分かりやすく説明しよう	・分かりやすい説明、分かりにくい説明の違いを理解する。 ・分かりやすく説明するためのポイントを整理する。 ・ポイントを押さえながら、様々な説明の仕方を実践する。	・情報を整理し、「相手」「内容」「目的」「状況」に応じて、分かりやすく伝える方法を身に付ける。 ・学習を通じて得られた「分かりやすく説明する方法」を、日常生活においても状況に応じて使えるようにする。
	2　身体で表現しよう	・他人を演じ、受け答えをしたり、ジェスチャーをしたりする。 ・即興劇に取り組む。	・自分の身体が表現しているものについて考えを深める。 ・演劇的な活動に取り組み、自分の身体を効果的に使って表現するスキルを身に付ける。
	3　「問い」を考えよう	・目的とテーマを明確にしてインタビューをする。 ・インタビューしたことを記事にまとめる。 ・電話のかけ方やメール文の書き方を学ぶ。	・問う力、質問力が自他の表現および思考の質に大きく関わることを認識し、その種類や機能を学び、活用法を習得する。 ・インタビューを実践することで、問いや質問のもつ力や意義、その重要性を体験的に学習する。
	4　「自分」を表現しよう	・リフレーミングを行う。 ・履歴書の書き方を学ぶ。 ・面接の練習を行う。	・自己分析を行い、第三者の意見も踏まえて、客観的に「自分」を把握する。 ・志望理由書、履歴書の作成、模擬面接などで、相手に伝わるように「自分」を表現する。
2学期	5　論理的な文章を書こう	・小論文の形式や書くときのポイントについて学ぶ。 ・与えられたテーマや資料をもとに小論文を書く。	・小論文を書くことを通して、与えられたテーマに対して自分の考えを明確にする力と、論理的で説得力のある文章を書く力を身に付ける。
	6　話し合う力をつけよう	・話し合いの手法や形式について学ぶ。 ・話し合いの実践を行い、どのようなポイントに気を付けると良いか学ぶ。	・現代社会のトピックに対して、問題発見や課題分析を行い、問題解決能力を養う。 ・合意形成を目的とする話し合いの展開パターンと、それを支えるファシリテーションの概念および基本的なスキルを学ぶ。
	7　情報活用力を身につけよう	・誰に何を伝えたいのかを意識して、広報の資料を作成する。 ・５Ｗ１Ｈを意識した報告書の書き方を学ぶ。	・災害避難所でのコミュニケーションにおける意見対立を描いた脚本をもとに、協同的問題解決を目指す話し合いをシミュレーションする。 ・正確な情報を見極め、その情報を目的に合わせて効果的な表現で発信する。 ・相手意識をもち、相手にとって有用な内容や理解しやすい表現を吟味する。

3学期	8　説得力のある提案をしよう	・相手や目的、場所に応じたプレゼンテーションの作り方を考える。 ・プレゼンテーションに必要な機器や身体表現について学ぶ。 ・プレゼンテーションを作成し、発表をする。	・提案内容を受け入れてもらうために、効果的で印象的なプレゼンテーションの仕方や、相手の心を動かすために必要な身体表現や態度などについて学び、説得力のある表現について理解する。 ・フィードバックで他者の意見を取り入れることで、相手の心を動かすよりよい表現を目指す。
	9　表現を楽しもう	・俳句、短歌、エッセー、物語など作品の分類分けについて学ぶ。 ・学んだ作品を参考に、文章を使った作品を創作する。	・俳句、短歌、エッセー、物語など、いろいろなジャンルの作品創作を通じて、言葉を用いて表現することを楽しむ。 ・読み手に伝わるよう、表現を効果的に工夫し、自分ならではの作品を創作する。